

移住なんでも

Q&A



Q いわたの
仕事&生活を
知りたい時は？



A 岩手ライフ応援マガジン「いわてWalker」がオススメです。岩手のさまざまな分野で働く若者やU・Iターンした若者へのインタビューにより、日々の仕事や暮らしぶりを紹介しています。首都圏・県内の書店、コンビニ、通信販売で入手できます(価格:750円(税抜き))。県の移住・定住情報サイトや岩手の仕事・就職情報サイトも、参考にしてください。

- ▶ 岩手県移住・定住情報サイト
- ▶ 岩手の仕事・就職情報サイト

イーハトー部に入ろう! 検索

シゴトバクラシバIWATE 検索

A 実際に企業の採用担当者や市町村の担当者の話が聞ける面接会・相談会など、たくさんのイベントを開催しています。就職情報はもちろん、地域ならではの働き方や職種など、さまざまな情報を収集できます。

- ▶ イベント情報は、「イーハトー部に入ろう!」や「シゴトバクラシバIWATE」などで案内しています。

Q 企業の話を
聞いてみたい
時は？

Q 移住について
相談したい!

A 東京などでじっくり相談したい方にオススメなのが2つの窓口です。一人一人の相談に、専門職員が丁寧に対応します。お気軽にお出掛けください。

■いわて暮らしサポートセンター

専任の移住コンシェルジュと就職活動をサポートするキャリア・カウンセラーが、暮らしと仕事の相談に対応します。

お気軽に
ご相談ください



東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階
(ふるさと回帰支援センター内)
[電話]
080-8871-1741(直通)
[営業日/時間]
火曜日~日曜日/10時~18時

A 年に4回開催している「岩手移住体験ツアー」(県主催)に参加すれば、地域の人たちと交流しながら風土に根差した暮らしに触れることができます。市町村でも同様の体験ツアーやお試し移住のプログラムを開催していますので、チェックしてみてください。

Q いわて暮らしを
体験したい時は？



岩手移住体験ツアー 検索

Q 気軽に仕事を
体験したい!



A 岩手で働きながら2~4週間ほど暮らし、地域の方々と交流や学びを通じリアルな暮らしを体験できる「いわてふるさとワーキングホリデー」を実施しています。わんこそばの給仕や機械組み立てなど17企業の仕事を体験できます。

- 第1期:令和元年7月下旬~9月中旬
- 第2期:令和元年12月~令和2年2月ごろ

ワーホリ!いわて 検索

A 首都圏などから岩手へ移住し、就職・起業する方の経済的負担を減らすため、移住支援金を給付しています。2人以上の世帯での移住に100万円、単身での移住に60万円を支給。受給するには、一定の要件がありますので、移住先の市町村または県庁定住推進・雇用労働室にお問い合わせください。

Q どんな
移住支援が
あるの？



▶ 県サイト内ページ番号検索 1019670

■岩手県 U・Iターンセンター

主に就職相談に対応する窓口です。東京の窓口では、職業アドバイザーが常駐し、無料で職業紹介も行っています。

- ▶ 東京都 中央区銀座5-15-1南海東京ビル1階(いわて銀河プラザ内)
[電話]03-3524-8284
[営業日/時間]月曜日から土曜日/10時30分~17時
※現在、一時的に土曜日の営業を休止しています。
- ▶ 名古屋市 中区栄4-16-36久屋中目ビル3階(岩手県名古屋事務所内)
[電話]052-252-2412
[営業日/時間]月曜日から金曜日/10時~17時
- ▶ 大阪市 北区梅田1-3-1-900大阪駅前第一ビル9階(岩手県大阪事務所内)
[電話]06-6341-3258
[営業日/時間]月曜日から金曜日/9時~17時30分

[問]県庁定住推進・雇用労働室 019-629-5588

いわてで働く いわてで暮らす



奈良県から八幡平市に移住し、安比塗に携わる工藤理沙さんとお子さん。

移住者インタビュー



故郷で好きなことをする姿が、
移住のヒントになれば嬉しい。

盛岡市都市戦略室・
地域おこし協力隊/
StormGlass.Lab代表
中島 航さん(盛岡市出身)

大学卒業後は東京のIT企業への就職を希望していましたが、県の移住イベントに参加し、盛岡で生き生きと働く人に出会って考えが変わったんです。「こんな人が岩手にもいるんだ」という驚きから故郷への関心が高まり、地域おこし協力隊に応募しました。私に刺激を与えてくれた人のように、移住を考える若者たちの心を動かし、一緒に地域を活気づけていきたいと思ったからです。

現在は、盛岡市の移住定住推進の窓口として、さまざまな相談対応や移住者のサポートを担当しています。プライベートでは、天気の変化で結晶の状態が変わるストームグラスのワークショップを主催するなど、科学への興味を広げる活動を行なっています。「好きな場所で好きなことができる」ということを、自分の姿を通して伝えていけたら嬉しいです。

どこで暮らし、働くか。それは、人生の道筋を決める大事な選択です。ここ岩手でも新たな生き方を求めて、UターンやIターンなど県外から移住する人が増えています。また、首都圏と岩手を行き来しながら働いたり、移住しないまでも岩手を継続的に応援している人もいます。

しかし、その一方で、県外への若者の流出は進み、地元企業では人材不足が続くなど、人口減少の克服は喫緊の課題です。こうした状況を

改善するため、県は4月に「定住推進・雇用労働室」を設置しました。移住定住の推進に向け、暮らしと仕事の両面から一体的に支援できるように受け入れ体制を強化しています。

今、復興が進む岩手では、新たなまちづくりや交通ネットワークの進展に伴い、多様な産業が集まり、生活環境も大きく変化。自分らしい暮らし方・働き方ができる場所として、もう一度岩手を見つめ直してみませんか。